

郷土撰津 いにしえ通信

第93号



平成18年1月1日

発行

撰津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566 - 8555 撰津市三島一丁目1 - 1

(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>

新年あけましておめでとうございます

いにしえ通信も 90 号を越え、節目の 100 号に近づいてまいりました。これからは読者の皆様から「見ているよ！」とお声を掛けて頂けるような、充実した内容にしていきたいと思っております。

本年も撰津市の文化財行政に、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

生涯学習課長 木下 好宏



ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・
中近世から現代まで時代別に淀川
と撰津市の関わりに迫ります。

第10回

後鳥羽上皇と淀川 平氏をほろぼした源頼朝が、1192 年に征夷大將軍となり、相模国（神奈川県）鎌倉の地に日本最初の武家政権として 1333 年まで約 140 年間続いた鎌倉幕府を開きました。頼朝は武士に対し御家人としてその土地の所有権を認める代わりに幕府への忠誠を義務づけるという御恩と奉公の関係で結ばれます。政治の機関としては將軍を中心に、中央に政所（はじめ公文所）・侍所・問注所がおかれ、政所は政治を、侍所は軍事を、問注所は訴えや裁判を受け持ちました。一方、地方には朝廷や公家の公領や荘園があり頼朝は一応認めながらも幕府から御家人を任命して、諸国に守護を、公領や荘園に地頭をおきました。守護は、その国の軍事・警察の仕事を、地頭は荘園の年貢のとりたてや警察のような仕事をしました。

頼朝の死後、幕府の実権は頼朝の妻政子と、その父の北条時政の手に移ります。第 3 代將軍源実朝が暗殺されて源氏の將軍が絶えると、名ばかりの將軍を京都から迎え、執権政治が行われました。執権は將軍を助けて政治を行う役職で、北条氏は代々執権として政治を独占することになります。

このような状況の中、後鳥羽上皇が承久 3 年（1221）5 月 15 日に承久の乱を企てます。結果、幕府側の大勝利となり以後、朝廷の力はおとろえ、幕府の力は全国にのびていきます。

後鳥羽上皇は和歌をはじめ琵琶・蹴鞠など多芸多能でした。『新古今和歌集』は後鳥羽上皇の勅撰として著名です。また上皇は淀川右岸水無瀬の地に水無瀬離宮を営みしばしば優雅な日々を送りました。そのありさまを『増鏡』では次のように記しています。「水無瀬といふ所に、えもいはずおもしろき院づくりして、しばしば通ひおはしまつつ、春秋の花もみぢにつけても御心ゆくかぎり世をひびかしてあそびをのみぞしたまふ。所がらもはるばると川にのぞめる眺望、いとおもしろくなむ。元久の頃、詩に歌をあはせられしにも、とりわきてこそは、見わたせば山もとかすむみなせ川ゆふべは秋となにおもひけむ」

上皇は水無瀬離宮滞在中、しばしば江口・神崎の遊女を呼んでいます。淀川を華やかに往来したことでしょう。『建仁元年熊野御幸記』によると、建仁元年（1201）3 月 19 日から 23 日まで遊女が江口・神崎から参上して連日歌舞を演じています。

（裏面へつづく）

また藤原定家の『明月記』にも建仁3年5月10日～13日、8月23日～26日に水無瀬離宮へ遊女参上の記事があり、ことに8月26日には、將軍頼家が病氣との報で急ぎ遊女が「放ち出され」とあり、頼家の命あやうしとみた上皇方の緊張が感じられる記載が見られます。

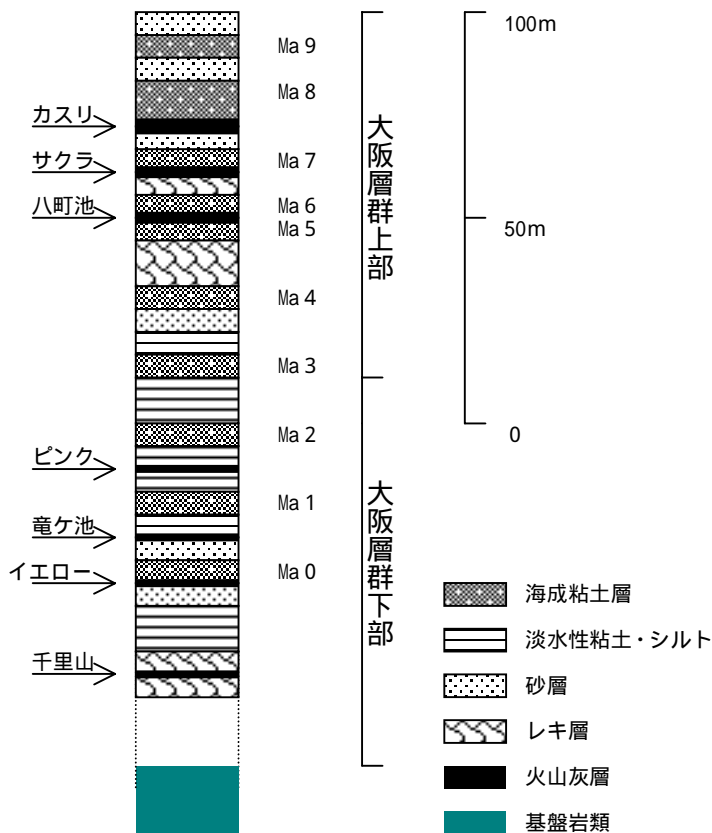
承久の乱後の同年7月8日、後鳥羽上皇は鳥羽殿で出家し、13日に淀川を船で下り、配流地の隠岐へ向かいます。その後再び淀川をのぼることはなく、在島17年半、延応元年（1239）1月に没します。



第51回 埋もれた摂津市の歴史 千里丘陵と「大阪層群」



発掘調査で明らかになる埋もれた
摂津市の古代に光を当てます。



大阪層群の地質柱状図

大阪盆地、京都、奈良盆地、播磨盆地北部や淡路島の丘陵地・台地のベースを構成している地層は大阪層群と呼ばれています。大阪層群は主に湖沼、河成の粘土、シルト、砂、礫層から構成されていて、12層の海成粘土層と35層以上の火山灰層をともなっています。海成粘土層は、下部よりMa 1、Ma 0、Ma 1...Ma 10層と名付けられ、火山灰はその特徴や模式地に基づいてアズキ、ピンク、イエロー、八町池、山田火山灰層などと呼ばれています。これらの海成粘土層や火山灰層は連続性に富んでいて大阪層群の鍵層となっています。最初に大阪層群の層序がたてられたのが千里丘陵です。はじめて同層群で海成粘土と淡水粘土とが識別されました。またはじめて多数の火山灰層がこれら粘土層に挟まれて確認されました。現在千里丘陵は大阪層群の模式地に設定されていますが、宅地化がすすみほとんどその露出を見ることはできません。ただ発掘調査の掘削の範囲で大阪層群上部の検出が見られます。

ふるさと摂津講座 1月開催

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。講師はいずれもふるさと摂津案内人が務めます。

受講に際しては、申込みは必要ありません。
直接会場へご来場ください。

日時 平成18年1月18日（水）午後2時～4時
会場 摂津市総合福祉会館 第1会議室
内容 青年会・青年団の歴史 講師：神谷 令美氏
吹田操車場跡と明和池遺跡 講師：範國 忠士氏
定員 60名 入場無料